



在宅医療機関として大切なこと

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

最近、医療職や介護職などの多職種連携をいかに良く行なっていくか、全国各地で盛んに議論がされています。そんな



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

か、私自身も、在宅医療機関の大切な持ち味は何を見つめ直したいと思

その基本は、患者さんの全身を診る高い能力、在宅で行える医療の幅広い守備範囲、患者さんの

期を迎えたいかなどの意志の尊重に込められた医師の意思の強さではないか、私

現在、主に関わっている方は、ほとんどが病気を患いな

がらも「可能な限り自宅」で「思っている」方です。ここで自分の中で大切にしていること、私の頭の中で描いている病気の経過と、患者さん自身の病気への認識や現状とのギャップを、無理にすべに埋めないよう、うにすることです。人は納得をして気持ち前に進むので、この「納得を大切にしています。」

加えて在宅医療機関として大切なことは、患者さんご家族のみならず、我々医師も納得できる医療を行うことです。検査が必要な可能な限り在宅で、MRI、CTなどが必要なら送迎の画像クリニックで、入院加療が必要な場合は適切な医療機関に、リハビリが必要な場合は適切な老人保健施設に紹介できることなど、迅速に対応できるネットワークを持つことも大切です。当院は常に在宅医療に何が重要かを模索し、今年も進化し続けたいと思

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応：午前 9:00 ~ 午後 6:00
 ■定休日：土日 (祝日は診療)
 ■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

↑ 診療相談はこちらから

まつばらホームクリニック